

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 綴文

いろは差えがあるから面白い
いろはな人がいるから楽しい

No. 531

2019年12月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- あの山の向こうに ② 2
- 『ルス・パーク自伝』下巻 4
- 『中国文化55のキーワード』他 8
- 方便りから 11
- 銘木館見学会 19
- 三浦ノック「謎の池」 22
- 下関ぞ草刈り 23
- け・い・じ・ばん 26

「戦争のための最新鋭で
強力な兵器を製造しながら
平和について話すことなど
どうしてできようか」
フランシスコ・ローマ教皇

■ F35導入をめぐる
各国の状況

国名	導入機数 (予定含む)
米国	2456機
日本	147機
英国	138機
豪州	100機
トルコ	100機
イタリア	90機
カナダ	88機
ノルウェー	52機
イスラエル	50機
韓国	40機
オランダ	37機
ベルギー	34機
デンマーク	27機

「爆買い」日本総額 6.7兆円

(11月22日「朝日新聞」)

ま、円を

+2,41名

11月30日現在の
会員数 247名

この見本

20
野

10月現在。ロッキード・
マーチン社資料に基づ
く。国防総省は7月、ト
ルコをF35プログラム
から除外すると発表

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、日本の伝統・文化

銘木館見学会

悪天候が続いたが、11月に入って長時間のよい天気が続いた。

11月6日(水)、快晴。定刻10時より早く行くと、地下鉄「南砂町」駅③出口には佐藤貞敏・さびりご夫妻がすでに待っておられた。芝崎さんだけなせか見えなかつたが、横須賀さん(仙台)、正士さん(磐田市)と遠方組を含めて総勢15名。なかでも、横須賀さんと若村育子さんは大学同窓で同じ寮に入っていたのに、感動の初対面。

銘木館の展示については感想が書き次第で伝之するとして、以下、見学後の行動を簡単に紹介します。

南砂町から地下鉄をのり継ぎ、築地へ。大勢の昼食をどうするか気がかりだったが、土井社長が勝鬨(めいどき)橋際の老舗「天竹」を予約して下さったおかげで、ゆったりと各自思いのままの食事を楽しむ。(ぼくは、天丼)

隅田川バリエ歩き、築地本願寺、聖路加病院、播州浅野家上屋敷跡、福澤諭吉の義塾発祥の地と土井社長の案内で歩き、築地書館の社屋へ。ここで横須賀、若村さんと別れ、社内でもひと休み。

それぞれお気に入りの図書を購入。(2割引) ぼくは次の子集を。例によって「



長蔵杉を背景に記念撮影

菅原 山崎 喜多 佐藤(心) 鈴木 若村 原田 伊藤(宗) 横須賀 佐藤(正) 土井(佐藤) 内田

カメラ: 鈴木正士さん(〒438-0103 磐田市大平311)

積ん読し、必至なので、広告文を参考までに。

保持林業 保持林業

木を伐りながら生き物を守る

柿澤宏昭+山浦悠一+栗山浩一 [編]

定価：本体 2700 円 + 税

成熟期をむかえる日本の人工林管理の新指標。保持林業では、伐採跡地の生物多様性の回復・保全のために、何を伐採するかではなく、何を残すかに注目する。生産林でありながら、美しく、生き物のにぎわいのある森林管理の方向性を示す。

バイオマス本当の話

持続可能な社会に向けて
泊みゆき [著]

四六判 1800 円 2012 年
ISBN 978-4-8067-1435-4

世界でも日本でも、最も多く使われている再生可能エネルギー、バイオマス(生物由来の有機資源)。日本は今後、バイオマスをどう利用すべきか。長年、独立した立場で本テーマの調査研究、政策提言をしてきた著者が示す、バイオマスの適切な利用と持続可能な社会への道筋。

『樹に聴く』 清和研二 著 2400 円 + 税

森と共存する樹木は、どのようにして生き延び、種の多様性を生み出しているのか。種子発芽のシグナルや種子散布に見る携み分けと共存。種ごとに異なる生育環境や菌類との協力。人の暮らしとの関わりまで、日本の森で見られる12種の植物を生育場所ごとに分類し、120以上の緻密なイラストとともに紹介する。

次いで、土井社長からいろいろ話を伺った。いま日本の出版業界はきびしい状況にあること。図書を購入するだけでなく、もよりの図書館に「築地書館の〇〇〇を読みたい」と言って購入してもらう方法もあること、など。

そしてぼくは、数多の新聞広告の中で、ひと目で築地書館とわかる広告は誰が制作しているのか尋ねた。すると、土井社長自身とのこと。過去に読売広告社から表彰されたこともなるそう。月2回、各紙一面下段にのる広告に注目。

◎大反響!

キノコと人間

医薬・幻覚・毒キノコ

マネー [著] 小川真 [訳]

医薬品、放射能、幻覚、毒と解毒、地下に広がる菌糸体——菌類研究の第一人者が、菌類の生体器としてのキノコの10億年の進化史を解き明かす。

●新刊 2400 円(税別)

築地書館 〒104-0045 中央区築地7-4-201
TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799

農業

自然を
楽しんで
稼ぐ
小さな

畑はミミズと豚が耕す

マルクス・ボクナー [著] シドラ房子 [訳]
ヨーロッパ家族農業の最先端を、脱サラ起業した農家が美しい写真とともにレポート。

キーワードは小規模多品種、付加価値、直販。地域に根差し、世界と繋がる新しい農の世界。 1800 円(税別)

築地書館 〒104-0045 中央区築地7-4-201
TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799

遊び

遊びが
学ばせ
ないわけ

自立した学び手を育てる

ピーター・グレイ [著] 吉田新一郎 [訳]

遊びは、決して苦役ではない。子どもにとって、自由な遊びこそが、学び手として成長する大きな翼になることを、高名な心理学者が人類史に遡って解き明かした。発売たちまち大反響!

2400 円(税別)

築地書館 〒104-0045 中央区築地7-4-201
TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799

銘木館の感想 (お待ちしています)

◇ 長蔵杉50X-HV. 薄い一言。佐藤貞敏さんありがとう。

働き過ぎは罰金です。厚正さん動く時間を計算して下さい。

内田美智子さん (ご注意ありがとうございます。「働く」と思う
(埼玉・川越市) (と疲れますが、ぼくの場合すべて「遊び」です)

うめくさ
(蛇足)

本と本屋をやり続ける文化 (感想のためにあけておいたけど、少なかったのだ。)

二村知子 (大阪・隆祥館書店店主)

● ベルリンでは、

大型書店が中心で、どこも同じような本を置いている状況に対抗するため、作家主義、文芸の自立をうたって立上げた通称「作家たちの本屋」。そのホフマン・グライントには、ギュンター・グラスをはじめ多くの作家が駆けつけたという。

グラスは、ノーベル賞受賞後に実は17歳の時にナチスの武装親衛隊に志願したことを告白。ノーベル賞の返還を問われたりするが、そのことを原罪として一生自ら背負う覚悟で臨んだ。過去の歴史に向き合い、頁の歴史を自分たちでしっかり教え学んでいるドイツの象徴的な存在。店内には当然、ヘイトし歴史修正の本も無い。

● ハンブルクでは、

書店が夕方6時まで注文した本は、翌朝、店を開けるまでに到着する。もし無料で、これはアマゾンが上陸してくるという際に危機感を感じた業界の人々が迎撃するためにあみ出したシステムという。

小さな書店「Seitenweise - Hamm」のオーナーは、以前、ソーシャルワーカーとして地域に根ざした活動をしていた。客との会話は絶えず、書店が単に本を売る場所ではなく、人々の憩いの場になっている。本という「人の人生に携わるストーリーを提供する」というスタンス。

● パリでは、

フランスでは、本のディスカウントは5%しか許されておらず、仮にアマゾンなどがそれ以上の値引きをすれば、政府が勧告する。さらに日本では、「倉庫であって恒久施設ではない」という主張から法人税も払っていないアマゾンだが、フランスではしっかり課税する。むしろ、ネットショップよりリアル書店の方が税率が低い。グローバル企業の独占が一気に進めば多くの書店が廃業し、作家や読者の集いの場が消える。果たしてそれで文化を存続するのか？と、国民も国も先のことを考えているのだ。

——『週刊金曜日』1255号から要約。

(いやは 昨年^の話) 下関で草刈り

ふつう台風は、日本列島に近づくに偏西風に流され、右側(東)に針路を変える。しかし、今年の台風12号の予報円は、逆に左側(西)に向かっている。右偏向の安倍政権にいや気がさしたのだろうか。

困ったことに、下関へ行く日はその台風の針路と重なっている。果たして新幹線はまともに動くのか。下関に着いても荒天で何もできないのではおみえ。延期すべきか、否か、迷った。切符はすでに買ってある。

考えた末、台風が影響する前に新幹線にのることにした。いやは台風といえども、新幹線の速度には及ばない。その旨、原田さんに連絡すると、なんと、一日早く出て今は宮島に居るといふ。用事があるて早く出られぬ正士さんは、乃どの「のぞみ」で、佐藤(貞)さんもそれに合わせた。飛行機を予約した伊藤(席)さんはキャンセルし、新幹線に変えた。

7月28(土)、ほんだ5:28の始発にのる時は、雨はやんでいた。7:03の「カリ」で静岡までくると、空は明るくなった。

新大阪で鹿児島行き「さくら」にのりかえ、岡山で内田博文さんと合流。内田さんは直前の西日本大水害で被災したこの家へ支援に行き、家の中に入りこんだ土砂と格闘したという。

新山口で「さくら」を降り、40分ほど待って山陽本線にのりかえ、^{おつき}「小月」には13:30到着。この頃には炎暑となっていた。

電話で道順をきくと、駅前の案内図に出ているという。4枚あるのを順に見ていくと、4枚目に「小月パン工房」の字があった。歩いて10分足らず、赤いレンガ塀に囲まれた家は大きかった。

門を入ってすぐ右手にパン工房があり、かっぱう着にマスク姿の兒林(伊藤)和代さんが出てきた。4~5年ぶりだろうか。今は手が放せないというので作業室に着か之外に出る。

門のつき当たりにくぐり戸があり、池のある庭園になっている。さらに奥のくぐり戸をぬけると裏庭となる。奥に向かって二段で高くなっている。用意されていた刈払い機(3台)を使って、奥の方から刈り始めた。



まばらに果樹(甘夏、柿など)が生えていて、草はあまりのびていない。刈りながら下がり、木小屋のところでおしまい。大きな小屋の中には、数多くの厚板が積まれていた。古びて樹種も定かでないが、削れば銘木で通りそう。小屋の中央で太い梁を支える柱は、一尺五寸(45cm)角。枝木商をしいた垣の名残りという。

一段落したところで、正士、康江、佐藤、原田さんが到着。居場所とされたへやに入る。最奥のへやには、20人分ほどのテーブルと椅子が置かれていた。前日まで三日間、農省から委託された HACCP(ハサセップ: NASAが開発した、食品の安全性を高めるための管理手法)の研修会を開いていたそう。

ふと休みにて外へ。「シルバー」さんが切ったツツジの枯枝の山を、佐藤さんが主となって燃す。敷地の広さと土地柄もあって、あまり気にしないようだ。残りのメンバーで昔五右衛門風呂だったという巨大な鉄釜を転がして支障のない場所に据える。

交替でシャワーを使う。夕食は、康江さん、高杉直子さん(研修から居残り?)に原田さん(?)が近くのスーパーで購入した食品を中心に。ナリやアジの刺し身、クジラのベーコンとさらしアジは、捕鯨基地だった下関ならではの。ほか、ゴーヤチャンプル、内田農園のトマトに高売物の惣菜パン、おやつパンも。

食事をしたへやは、奥の間の手前。奥の間と食事をしたへやは、天井が一段と高くなっている。そして、その二室に使われている板襖が美事だ。三尺幅と四尺幅各2枚が入っていて、三尺幅の方はスギの一枚板。四尺幅の方は2枚を接いであるが、



正士さんと目をこらしても継ぎ目がわからないほど。わずかに幅方向に縮みがあるが反りは全くない。殿様の書院を移築したそうだが、うなずける。

7月29日(日)、くもり後雨。パン工房は日曜日とあって休み。ゆっゆ起き出し、近くにある所有地を見てまわる。(ほか、山林が40haあるが、行ったとかなないそう) ミナ所あり、いずれも空地が半月ほど前に草が刈られていた。昼近く、雨になりそうなので、箸は残り、一人、長く伸びているところを刈る。

和代さんは、身よりのない伯(叔?)母さんに口説き落とされて相続したが、資産どころか全くの「買」動産だったという。固定資産税が高額で、相続税は土地を切り売りして払おうとしたが、売却代金に高率の税がかかり、銀行から借りて払ったという。規模は比較にならないが、ほかも「買」動産を抱えており、身につ

- ローカル線にのろう。
- 東北・福島へ行く。
- なるべく平日に。

掲示板

山中圭子さん
 (ザ・シニアジャパン)

◆ 三浦ハイク「浦賀」◆

こし最後の三浦半島歩き。浦賀はパリー提督ゆかりの地。きょと様々な遺跡があることでしょう。東海岸なので西風が吹いても大丈夫。

- 12月1日(水)、10:30 京浜急行「浦賀」駅集・発。← 浦賀へは、「堀内」で支線にのり替えて下さい。普通切符で。悪天(朝の予報で)神奈川(9~15時の間)に雨マークのときは、「来年、改めて実施」。

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- ① 12月3(金)~16日 → 14日&15日 島田市へ、会費4000円
- ② 1月6(月)~8日 } 磐田市 鈴木正士さんで、
- ③ 2月12(水)~14日 } 交通費自弁、会費3,000円。



ねこのて
 安東明子さん
 (吾妻橋ゆらし療養院)

◆ 大俵引きとサイの神見学会 ◆

1月14~16日、例年どおり「のんびり館」に泊まり、いつものように動きます。(以下に)

• 14日は、会津若松13:07 只見線にのり、会津坂下で下車、「大俵引き」見学。けっこう寒い。でも、下帯姿で俵を引く引き手はもっと寒い。15時頃、栗城社長の車で「のんびり館」へ。早戸温泉「つるの湯」又は宮下温泉入浴。「鳥追い」見学後夕食。

• 15日、朝食後、8時から「初田植之」、川井地区のサイの神立上げが終ってれば、大登り。ご神木仰之見学。昼食は「雪国」へ。さあ、何を食べようか。午後、サイの神立上げ。時間に余裕があれば他地区を見てまわり、三島神社の階段尻滑り、宮下温泉入浴。夕食後、サイの神奠火。帰館してのみ直し。

• 16日、帰宅の途へ。

※ 往路、会津若松までは随意。東武・野岩線・会津鉄道まわりか、JR上野~郡山(新幹線も随意)~会津若松か、東京(新宿バス?)からバスで若松も。

◆ ウォッチング 埼玉の“島”を探索 ◆ (当日朝、埼玉南部の9~15時に雨マークあり)

山崎彰彦さんが計画を立ててくれました。全行程3時間ほど。雨天 来年←

- 12月25日(水)、10:00 JR常磐線「金町」(京成ゆきそば) 改札口(1/10) 集・発
- 世のほ↑
クリスマス
とちゅう
- 金町 バス 桜提 芝みさと公園 芝戸崎ながす公園(島) 芝水元公園
- 芝金町駅(とんかつを食べて解散。とんかつ以外も可)。近くに宿さんも?